

研修費（ 市民連合 ）出張報告書

令和 2 年 12 月 14 日

氏 名 濱岡 歳生	研修会等題名 地方から考える 社会保障フォーラム
期 間 令和 2 年 11 月 5 日 から 令和 2 年 11 月 6 日 まで	研修会等会場（市区町村名） 東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F

研修会概要・意見等

日時：令和2年11月6日

日程：

10:00～11:00 講義1

ウイズコロナ社会の課題～感染拡大防止と社会経済活動の両立

梶原 雅宏氏 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 内閣審議官

11:00～11:20 討議

12:20～13:00 聴いてトクする社会保障

○コロナ禍の職場不適應（白崎 哲史氏 株式会社フィスメック）

○地域医療体制構想に基づく提供体制整備の行方（谷野 浩太郎氏社会保障旬編集長）

13:00～14:00 講義2

「これからの地域共生社会と地域福祉」

古都 賢一氏 社会福祉法人 全国社会福祉協議会副会長

14:00～14:20 討議

14:30～15:30 講義3

健康危機管理と災害対策

高島 章好氏 厚生労働大臣官房 健康危機管理・災害対策室長

15:30～15:50 討議

16:00～17:00 講義4

コロナ禍に於いての介護保険事業～地方自治体の役割

土生 英二氏（厚生労働省老健局長）

17:00～17:20 討議

検討・考察

第23回社会保障フォーラムに参加しました。その時々にあった課題で説明や国の考えを示唆頂けとても勉強になる研修です。特に心に残ったのが、全国社会福祉協議会副会長（古都 賢一氏）さんのお話で、これからの地域共生社会と地域福祉の話がありました。この中で社会福祉協議会の役割についての説明があり、かつてはMr.介護保険んとまで言われた方である。福祉ビジョン2020の8つの取り組みから、福祉を支える人材（福祉人材）の確保・育成・定着4を図る。国・自治体とのパートナーシップを強める。地域共生社会への理解を広げ参加を促進する。災害に備える。等々。

質問の中に、地域包括ケアセンターへの相談がどこの地域でも増えてきているが、そのことに対してどのように対処すればよいのかを質問した。地域包括センターだけでなく社会福祉協議会や色々の専門分野がこのことについて話し合い分担する事と、自治体の行動変容が大切だと言われた。まずは、感染拡大防止と社会経済活動の両立にどう取りどう組むかを、国だけではなく地方にも問われる。今回も色々な視点から福祉、保健の研修をさせて頂いた。少しでも自分の住むまちへ役立てればと思った。